

「個別の指導計画」記入例 3

「自分の思い通りにならないと、感情的になったり、突然高い所に上がった
りしてしまう」幼稚園年長児の記入例です。

様式 2 は、特に支援や配慮を必要とする指導内容や園の行事と、その行事の際、
主に支援する教職員を記入しています。

様式 3 は、「指導内容・指導方法・手だて等」に、家庭との連携や通級指導教
室の利用についても記入しています。

個別の指導計画

| | | | | |
|------|------|-------|-------|-----------------|
| 学年・組 | 年長・組 | 園長氏名印 | 担任氏名印 | 期間 |
| 氏名 | | | | 平成 年 月 ~ 平成 年 月 |

| | | | |
|----------------------------------|--|----------------------------------|--|
| 個別の 教育支援計画 長期目標 (概ね3年間) | | 個別の 教育支援計画 重点目標 (概ね1年間) | |
|----------------------------------|--|----------------------------------|--|

| 領域等 | 幼児児童生徒の様子 | 年間指導目標 | |
|-----|-------------|--|--|
| 領域等 | 生活習慣 | <ul style="list-style-type: none"> ・着替えや持ち物の整理など、手順を理解すると進んで取り組むことができる。 ・食事中気になることがあると席を離れたり、遊び始めることがある。 ・促されてトイレに行くことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分からトイレに行くことができる。 |
| | 言語コミュニケーション | <ul style="list-style-type: none"> ・指さしやジェスチャーを利用すると、指示を理解しやすい。 ・嫌なことに対して、「いや」という言葉で意思表示をすることができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分がしたいことを言葉で伝える。 |
| | 遊び | <ul style="list-style-type: none"> ・自由遊びのときには、机やロッカーの上など、高い所に上っていることが多い。 ・音楽を聴くことが好きで、一人で楽しそうに過ごしている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分がしたい遊びを見つけて楽しむ。 |
| | 人間関係・集団参加 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いがうまく伝えられないときに、感情的になったり、手が出てしまうことがある。 ・日によっては、集団遊びに参加せず、一人で園舎内のいろいろな部屋を見て回ることがある。 | <ul style="list-style-type: none"> ・友達とのかかわりを広げる。 |
| その他 | | | |

| 学年・組 | | 年長・組 | | | 氏名 | | | | | | | |
|--------------------------------------|--|--|---------------------------------|--|---|--|--|-----------------------------------|--|--|--------------------------|--|
| 領域等 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | |
| ね ら い | いろいろな遊びの楽しさを感じ、意欲的に取り組む。いろいろな友達とかかわって遊ぶことを楽しむ。目的をもって、気の合う友達と一緒に遊ぶ。年長児になったことを喜び、自信をもって生活する。 | | | 自分の考えや思いを相手に伝えたり、相手の思いに気付いたりしながら遊ぶ。 | | 友達と力を合わせて遊ぶ楽しさや、充実感を味わう。 | | | 友達とのかかわりを深め、互いを認め合いながら、園生活を楽しむ。 | | | |
| | 身近な自然の変化に興味や関心を持ち、楽しむ。 | | | 自分なりの目的、目標をもち、最後まで取り組む。体を十分に動かして遊ぶ。 | | 共通の目的に向かって考えを出し合い、遊びを進める。 | | | 友達と一緒に目的や見通しをもって、遊びや活動に取り組む。 | | | |
| 領 域 内 容 等 ・ 活 動 | 衣服の着脱、食事、排泄などの生活に必要な活動を自分で行う。いろいろな友達と様々な遊びの楽しさを共感しあう。 | | | 考えたことや気付いたことを言葉にして友達に伝える。 | | 園での生活の仕方や必要性に気付き、自分たちの生活の場を整える経験を積む。互いの考えを聞いたり、受け入れたりしながら遊びを進めていく。 | | | 自分のしたいことに進んで取り組んだり、苦手なことに挑戦したりする。一人ひとりが十分に自己表現したり、友達のよさを受け入れたりしながら、一緒に生活する楽しさを味わう。 | | | |
| | 自分の考えや要求を相手に分かるように伝えたり、トラブルを自分たちで解決しようとする。気の合う友達とイメージをもって遊ぶ中で、自分の考えや要求を伝えたり、簡単な相談をしたりする。 | | | 意見のぶつかり合いを経験し、自分たちで解決しようとする。自分たちの力を試したり、挑戦したりしながら遊ぶ。 | | 自分たちで遊びのルールを考えたり、守ったりして遊ぶ。 | | | 友達と力を出し合ったり、助け合ったりしながら、目的や見通しをもって遊びや活動に取り組む。 | | | |
| | 集団ゲームの中で、友達とかかわりを楽しんだり、ルールや約束を守ったりして遊ぶ。 | | | いろいろな運動遊びに興味をもち、進んで取り組む。 | | 友達と一緒に自信をもって表現活動を楽しんだり、目的や課題を意識して取り組んだりする。 | | | 雪や氷の特性を利用した遊びを考えたり、遊び方を相談したりする。 | | | |
| | 季節の変化を感じながら、戸外でのびのびと遊ぶ。 | | | 砂や水、自然物を使い工夫して遊ぶ。 | | 戸外で、自然物や気温の変化などに気付き、興味をもつ。 | | | | | | |
| 行事 | 飼育物の世話や、栽培物の生長に期待をもつ。 | | | 自分たちが世話をした栽培物の生長や、収穫を喜ぶ。 | | 年少児の手伝いをしたり、一緒に遊んだりする。友達と一緒に自信をもって表現活動を楽しんだり、目的や課題を意識して取り組んだりする。 | | | 修了・就学に向けた様々な活動に意欲的に取り組む。 | | | |
| | 始業式 入園式 新入園児歓迎会 定期健康診断 | 親子遠足 小学校運動会 会参加 さつまいも苗植え ポニースクール体験 | じゃがいもほり プール指導 安全教室 終業式 | 小学校交流会(プール) 遠足 英語で遊ぶ | 始業式 遠足 敬老の集い 英語で遊ぶ 焼き芋 鶴餅 英語で遊ぶ | 運動会 さつまいも ほり 遠足 焼き芋 鶴餅 英語で遊ぶ | 生活発表会 小学校行事 参加 ポニースクール体験 終業式 | 英語で遊ぶ 子ども会 ポニースクール体験 終業式 | 始業式 もちつき 鶴餅 ポニースクール体験 終業式 | 豆まき 小学校交流会(給食) 卒園式 年長組を送る会 交通安全教室 英語で遊ぶ | 親子お別れ 会 卒業式 修了式 | |
| その他 | ・儀式的行事は補助員が支援する。 ・畑の作業と運動会は仲のよい友達とペアで活動する。 | | | ・プールは園長が見守る。 ・英語で遊ぶ活動では好きな曲でリトミックを行う。 | | ・焼き芋は補助員が支援する。 ・畑の作業と生活発表会は仲のよい友達とペアで活動する。 | | | ・儀式的行事は補助員が見守る。 ・もちつきや雪遊びでは、小グループで活動させる。 | | | |

ゴシック体は、特に個別的な支援を行う内容・活動を示す。

| 学年・組 | | 年長・組 | 氏名 | 指導記録 | | | | |
|--|-----------------------------------|--|------------------|------------------|------------------|---|---|--|
| 領域等 | 学期の指導目標 | 指導内容・指導方法・手だて等 | 指導の | | | 指導の経過と評価 | 評価 | |
| | | | 目標 | 内容 | 方法 | | | |
| | | | | | | | | |
| 生活習慣 言語・コミュニケーション 等遊 び 人間関係・集団参加 | ・登園後と降園前にトイレに行く。 | ・登園時と降園時の流れをカード化し、その中にトイレに行くことを位置付ける。 ・排尿リズムについて家庭と話し合い、一日の中でトイレに行く時間をおおよそ決めて、トイレを促す。 | 4 3 2 1 | 4 3 2 1 | 4 3 2 1 | ・降園前のトイレは日課になりつつある。 ・登園時は着替えや音楽を聴くことが優先し、トイレに行くことが後回しになった。 ・声かけに対してトイレに行こうとしないので一緒に行くと、全く排尿がなかった。 | ・登園後に「着替え」「片付け」「音楽を聴く」「トイレに行く」という流れを決めて、促してみる。 ・表情や仕草をよく見て、排尿したくないようであれば、無理強いしない。 | |
| | ・自分のしたいこと、してほしいことを教員に伝える。 | ・本児の気持ちに寄り添いながら、声かけをしたりスキンシップを図ったりして安心感をもてるようにする。 ・表情や仕草をよく見て、そのときの本児の気持ちを分かりやすい言葉にして語りかける。 週に1回、通級指導教室でも指導する。 | 4 3 2 1 | 4 3 2 1 | 4 3 2 1 | ・教員とのかかわりの中で、言葉が出るようになった。 ・話し方がゆっくりであるため、友達の間では会話が成り立ちにくい。 | ・自分のしたいことを写真やカードで伝えさせ、その際、教員が、「したいんだね。」と言葉で確認することによって使える言葉を増やすようにする。 ・「いや」という意思表示をしっかりと受け止めた後、「がいやなのかな。」「××だからしたくないのかな。」と、具体的な言葉に置き換えて語りかける。 | |
| | ・教員とかかわり、親しみを深めながら、自分の好きな遊びを見付ける。 | ・教員は興味関心のある遊びを探り、誘いかけたり、一緒に遊んだりする。 | 4 3 2 1 | 4 3 2 1 | 4 3 2 1 | ・当初は音楽とラジカセ以外に興味を示さず、園内で過ごす場所も固定していたが、徐々に遊戯室にも行くようになり、教員を誘うこともあった。 | ・「(遊び、活動)は(場所、教室)です。」ことを決めることで、自分から目的をもって移動しやすいようにする。 | |
| | ・ルールのある遊びに参加し、友達や教員とのかかわりを楽しむ。 | ・必要に応じて教員が他の幼児との間に入るようにする。 ・ルールや役割が分かりやすい遊びを提示する。 | 4 3 2 1 | 4 3 2 1 | 4 3 2 1 | ・日によっては集団に入ることが難しかったので、補助員がそばにつき、友達が遊ぶ様子を一緒に見るようにした。 ・「じゃんけん列車」では、ルールを理解し、友達との活動を楽しむことができた。 | ・教員が一对一でかかわりながら、友達と同じ場で活動する時間が増えるようにする。 ・今後も、本人の得意なことを生かした遊びを工夫する。 | |

<注1> 指導の形態や指導の場所等については、「指導内容・指導方法・手だて等」の欄に必要なに応じて記載する。

(例) 「週1時間は通級指導教室を利用する。」「グループ別の指導を基本とするが、週1時間は個別に指導・支援する」「登園時の活動や集団での遊びの場面では、補助教員、支援員が個別的な支援を行う。」

<注2> 評価については、指導目標・指導内容・指導方法を必要に応じて1~4で概括し、顕著な部分を「指導の経過と評価」の欄に文章で記述する。

(例) 4段階評価(4:高く評価できる 3:評価できる 2:部分的に見直しが必要 1:全面的に見直しが必要)